

砂防ボランティア岩手県協会による 土砂災害危険箇所緊急点検結果報告

砂防災害課

1 概要

台風第10号により土砂災害が広範囲に多数発生したことから、県では砂防ボランティア岩手県協会に対し「土砂災害危険箇所緊急点検」実施の支援を要請しました。

県の要請を受け、協会は、9月5日から13日、9月28日から10月4日の2回にわたり、延べ57名による72箇所の緊急点検を実施。点検結果については、10月17日に協会の小林会長から及川県土整備部長へ報告書が手渡されました。

※砂防ボランティアは、県職員OBを含む、砂防に理解や知識のある方々により組織され、危険箇所の点検パトロールや、砂防意識を高める講演等様々な活動を行っています。

2 点検結果

土砂災害危険箇所緊急点検は、現地調査により「ランクA：直ちに応急対策が必要」、「ランクB：再点検後対応を決定」、「ランクC：緊急性が低い」等を判断するもので、今回の点検結果は下表のとおりです。

<点検結果（危険度ランク別）>

(箇所)

	急傾斜	土石流	計	備考
ランクA	2	9	11	A：直ちに応急対策が必要
ランクB	3	6	9	B：再点検後対応を決定
ランクC	29	23	52	C：緊急性が低いもの
合計	34	38	72	

3 今後の対応

ランクAの箇所については、災害関連緊急砂防事業による砂防堰堤の整備や、県単事業による応急対策等を実施する予定です。

また、ランクBは県が再点検をした結果、いずれの箇所も被害の拡大や二次災害発生のおそれも低いと判断されたことからCランクに変更しました。

砂防ボランティア岩手県協会には、豊富な知識と経験や年齢を感じさせないパワーにより、迅速かつ的確に緊急支援を実施していただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

今後も、同協会と連携しながら、災害時等における協力体制の強化を図るとともに、土砂災害防止活動の推進に努めていきます。

砂防ボランティアによる緊急点検の様子



宮古市茂市

結果報告する小林会長（左）と及川部長（右）

